

KTP振り返りシート

2021年3月24日

人材開発室 伊藤・軽部(学会企画運営)

内容・テーマ:オンラインアクティブ学会2020
のリフレクション(振り返り)

Keep (やり続けた方がいいこと)

- ◎みんなで発表し合うという場を提供できること
- ◎学会前ダイアログ・プレ練習会でオンライン接続や慣れ、内容を深めること
- ◎本会を毎年継続することで育成目標にも教育的な関わりになり、新人だけでなくバイザーの学びや気付きの機会になること
- ◎オンライン発表→移動がなく参加しやすい
- ◎録画とYouTubeにアップ→振り返りにもなる、不参加への伝達に
- ◎人材開発室による運営(事前準備～当日の司会進行～WEB管理)
- ◎1年目に限定せずに発表を募集すること人から話せる聴ける機会になること
- ◎日頃は会えない人、意見を聞けない人から聴ける、話せる機会になること
- ◎WEBアンケートで意識や成果の調査、発表や開催方法の検証に
- ◎社内新規事業に向けたプレゼン大会を兼ねることでイノベティブなことができる
- ◎戦略的OJTとして、称賛すべき前向きな失敗を経験してもらい次の成長につなげること



Problem(解決すべきこと、課題や改善点)

- ◎毎日の学会資料、URLの送付が手間がかかる
- ◎視聴者数が伸び悩んだ(10~20名超)
- ◎発表者の時間配分がほぼできていなかった
- ◎発表者の準備が大変で業務に支障が出ていなかったか
- ◎発表としての体裁が整っていない。発表者によって差が大きい
- ◎演題の内容についての調整も必要か
- ◎webアンケート回答数が少なかった。量や告知方法等の要見直し
- ◎1日に3名のオンライン発表だと時間的に慌ただしく、結果的に予定時間を超過してしまっていた。スケジュールリング要調整か
- ◎オンラインの限界と可能性を感じた
→現場でのバイザーによる指導がキーか
→不慣れな環境下での質問など場慣れが必要か
→顔出ししない人も多かった、苦手な人も多いのでは
→顔出し無し参加OKしてもいいのでは

Try (新たに取り組むこと、計画、展望)

- ◎1~3年目までに発表を終えるよう発表対象者を変える
- ◎2月までに資料提出→2月中に資料集URLを作成して全社員に配布する
- ◎最低限、発表としての体裁を整えてもらうようZOOM補講の中で伝えておく(他人に伝えるために体裁を整える練習としての社内学会)
- ◎各事業所の責任者さんや特に担当バイザーとも連携を図り、より良い発表へとつなげること
- ◎事前のオンライン練習会、ダイアログにバイザーとも参加調整できれば...

